

2013年度 神奈川県医療社会事業協会 医療福祉講座のごあんない



【参加対象者】

- ① 急性期医療、慢性期療養、リハビリテーション、入所介護、地域医療、精神科医療などを提供する機関・施設に属するソーシャルワーカーや保健医療福祉のスタッフ
（例）特定機能病院、地域医療支援病院、一般病院、療養型病床群、障害者病棟、特殊疾患病棟、回復期リハビリテーション病棟、精神科病院、在宅療養支援診療所、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、障害者施設など
- ② 地域で暮らすことを支える機関・事業所に属するソーシャルワーカーや保健医療福祉のスタッフ
（例）福祉保健センター・福祉事務所・保健所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問入浴、通所介護、通所リハビリテーション、小規模多機能型居宅介護、短期入所介護、通所療養介護などの事業所
- ③ 支援団体に属するソーシャルワーカーや保健医療福祉のスタッフ
（例）NPO 団体のスタッフ、ボランティアなど
- ④ 保健医療福祉分野に関心のある学生
- ⑤ その他本研修のテーマに関心がおありの方

【主催】：神奈川県医療社会事業協会
【共催】：公益社団法人 神奈川県病院協会

【テーマ・趣旨】

本年度は、**HIV/AIDS とソーシャルワーク実践**をテーマとします。

HIV 感染症は、1981 年にアメリカで初めて患者が確認されました。日本では、1986 年に初めて外国人女性が AIDS 患者と発表され、翌年には風俗産業に従事する女性 AIDS 患者が死亡し、血友病の夫をもつ女性の出産報道がありました。顔写真や名前の公開など患者の**人権が無視**されるような過熱した報道がなされ、病院の患者忌避が始まるなど、AIDS パニックといわれる現象が生じました。**HIV/AIDS は、いまなお差別や偏見が顕著な疾患である**といえます。

過去には死亡する病気であった HIV/AIDS が、医療の進歩により、早期発見と適切な治療によって、**患者は通常の生活を送り、長期生存ができるようになりました**。HIV/AIDS は、いまや慢性疾患であるといえます。つまり、このことは**HIV/AIDS にかかっている方が高齢化していく**ことを意味します。そうすると、**当然、介護が必要な状況となる可能性が高くなります**。現在、HIV/AIDS についての治療は、エイズ治療拠点病院という専門の医療機関によりなされていることがほとんどですが、**拠点病院だけで患者のニーズをすべて満たすことはできません**。リハビリや**長期療養、介護・生活支援が必要となった場合には、それらを担当する地域の社会資源の活用が欠かせません**。しかし、現実には、HIV/AIDS にかかっている方がこれらの社会資源を活用しようとする時に、その**利用を拒否されていることが少なくありません**。これは、**深刻な人権侵害である**といえます。

保健医療分野で専門職として働く以上、HIV/AIDS の問題にかかわることは必ずあるといっても過言ではない時代が来ています。ただ確定診断がついていないだけで、すでに皆さんのかかっている方の中に HIV/AIDS にかかっている方がおられる可能性もあります。それほどに**HIV/AIDS は身近な疾患**なのです。

HIV/AIDS についての理解を深め、HIV/AIDS にかかっている方が、**自身の住み慣れた地域社会において、必要な治療や介護を適切に受けられる社会をつくる**必要があります。そして、そのためには人権と社会正義の原理にのっとり社会福祉の推進とサービス利用者の自己実現を目指す専門職である、われわれ医療ソーシャルワーカーが行動していかなければならないのです。HIV/AIDS にかかった方は、免疫機能障害の身体障害者手帳の取得が可能ですが、これは、われわれ MSW の先達のソーシャルアクションの賜物です。

1994 年に横浜で国際エイズ会議が行われてから、間もなく 20 年。その間、治療についてはめざましい進歩が見られるものの、患者をとりまく社会的な情勢はあまり変化していないように感じられます。**今回の研修は、HIV/AIDS にかかっている方が、「あたりまえに地域で暮らすことができる社会」をつくっていくための第一歩であると考えます**。

神奈川県医療社会事業協会は保健医療福祉分野における職能団体として、今回の研修を HIV/AIDS に関する課題を**「今、ここで」**を大切に、今の状況を改善していくことに**「どう専門職として貢献できるのか」**、**皆さんとご一緒に考えていく機会**としたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

【内容・講師】

●イントロダクション 「神奈川県の HIV/AIDS の動向」

講師：田原 秀 氏（神奈川県保健福祉局 保健医療部 健康危機管理課）

☞神奈川県の HIV/AIDS の動向、県の対策の概要について学びます。

●第1部 「HIV/AIDS の基礎知識～正しい病気の理解のために～」

講師：立川 夏夫 氏（横浜市立市民病院 感染症内科 科長）

☞疾患、治療方法、感染予防の方法などに関する基礎的な知識を学びます。

●第2部 「HIV/AIDS とソーシャルワーク実践～地域で生きるを支えるために～」

講師：安田ゆかり 氏（横浜市立市民病院 患者総合相談室 MSW）

講師：田中千枝子 氏（日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授）

講師：友田 安政 氏（横浜市立大学附属病院 福祉・継続看護相談室 MSW）

☞HIV/AIDS とソーシャルワーク実践について、理解を深めていきます。

【日時】

2013年12月7日(土) 10:00～16:30

午前の部：イントロダクション・第1部 / 午後の部：第2部 **※午前のみ、午後のみ参加も可能です。**

【場所】

横浜市スポーツ医科学センター 大研修室

横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内 電話 045-477-5050

※会場周辺には飲食店がありませんので、午前・午後をとおして参加される方は、予め昼食をご用意ください。

【参加費用】 無料

【定員】 100名

【参加申込方法】

裏面の参加申込書に必要事項を記載の上、主催団体である[神奈川県医療社会事業協会の事務局へFAXにて](#)お申し込みください。

先着順で受付とします。**参加頂けない場合のみ**連絡を差し上げます。連絡がない場合は、当日直接会場へお越しください。

受付状況は、神奈川県医療社会事業協会ホームページの「研修のお知らせ」のページでご確認ください。

【アクセス】



電車の場合

- JR 横浜線・東海道新幹線「新横浜駅」北口下車徒歩 15 分
 - 横浜市営地下鉄「新横浜駅」下車 8 番出口（日産スタジアム方面）徒歩 15 分
 - JR 横浜線「小机駅」下車徒歩 15 分
- ※新横浜駅から日産スタジアムまでの経路は、[日産スタジアムのホームページ](#)でご確認ください。

バスの場合

- 新横浜駅・仲町台駅（横浜市営地下鉄）からの場合→横浜市営バス（300 系統）
 - 新横浜駅（JR・横浜市営地下鉄）・綱島（東急東横線）、新羽駅（横浜市営地下鉄）からの場合→東急バス（72 系統）
 - 新横浜（JR・横浜市営地下鉄）・溝の口駅（東急田園都市線）からの場合→東急バス（直行）
- ※バス停は「日産スタジアム前」で下車してください。

自動車の場合

- スポーツ医科学センターの専用駐車場がないため、最寄の有料駐車場へのご案内となります。ご了承ください。
- 最寄の駐車場：日産スタジアム内「新横浜公園第 1 駐車場・第 2 駐車場」（最寄は、第 2 駐車場です）
- 2 時間 / 400 円（超過 30 分毎に 100 円加算）

【問い合わせ先】 神奈川県医療社会事業協会 研修・研究部 担当理事

鈴木 豊（東京医科大学病院）

電話：03-5339-3743

篠原 直樹（横浜市立脳血管医療センター）

電話：045-753-2500

☆☆☆ 送信状は不要です。このまま送信してください ☆☆☆

【送付先】 神奈川県医療社会事業協会 事務局

FAX: 045-827-1217

2013 年度 神奈川県医療社会事業協会・神奈川県病院協会 共催研修
HIV/AIDS とソーシャルワーク実践 参加申込書

【申込受付期間】: 2013 年 10 月 21 日(月)～11 月 30 日(土)

※受付期間外の申込みは一切お受けしませんのでご注意ください

(ふりがな) 氏名	()	男・女	経験年数: 年 ヶ月
参加資格	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤	参加形態	<input type="checkbox"/> AMのみ <input type="checkbox"/> PMのみ <input type="checkbox"/> 1日
職種	<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー <input type="checkbox"/> 支援相談員 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> 心理 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> ケアマネージャー <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> その他 ()		
(ふりがな) 勤務先名称	()		
所属部署名		職名	
所属機関機能	<input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 介護保険施設 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> サービス提供事業所 <input type="checkbox"/> その他 []		
★	勤務先所在地	(〒 -)	
	電話番号	(代表・直通)	FAX (代表・直通)
	自宅住所	(〒 -)	
	電話番号		FAX
※緊急連絡の際に使用します。必ず記載してください。それ以外の用途には使用しません。			
	携帯電話		
	メール	(勤務先・自宅・携帯)	
この講座でお知りになりたいことを教えてください。			

★勤務先所在地と自宅住所についての情報は、いずれか連絡を希望する方の欄へご記入ください。

※受付番号